

人が育つとは

— 「問い」との向き合い方を考える —

人が育つとは、一体どういうことなのか？

現在もさまざまな機関において「教育」がなされているが、何をもって人が育つといえるのか。

現代は、ネット社会と言われるほど、ほとんどの人が利用しており、生成AIやビッグデータの活用も一般に広がりつつある。私たちは、日々、事あるごとにスマホなどで検索しているが、そこに何を求めているのだろうか。「答え・正解」なのだろうか。

人が育つというのは、やり方を学び、学び方を学び、あらゆる存在と共に生きることを学び、そして人としてのあり方を学ぶこと。それは「答え」を享受することではなく「問い」を投げかけ主体的に課題を設定・解決し、またそこから別の問いがわきおこるところに、それらの学びがあるのではないだろうか。大谷大学は「人間教育」を理念の土台とし、「人間の本質を問う」

教育・研究を120年以上続けており、近年は、「問い、続ける。」というメッセージを大学として強く打ち出している。

今回のシンポジウムでは、高大接続事業、高校生の進路指導等のスペシャリストである倉部史記先生をお招きし、「人が育つ」ということを考える機会としたい。

2025年

3月23日(日)

14:00-16:00(受付13:30~)

[会場] 大谷大学 講堂

[参加費] 無料

基調講演 14:10-14:50(40分)

大学進学「先」を見据えた進路指導と
キャリア教育 — 「問い」を通じて私達が高校生にできること —

[講師] 倉部 史記 氏

追手門学院大学 客員教授、情報経営イノベーション専門職大学 客員教授



[講師] 倉部 史記 氏

トークセッション 15:00-16:00(60分)

[パネリスト]

倉部 史記 氏

一楽 真 大谷大学長

富岡 量秀 大谷大学教育学部教授

[コーディネーター]

西本 祐攝 大谷大学入学センター長・文学部准教授

申込方法

大谷大学HPよりお申し込みください



<https://bit.ly/otani234>



ライブ配信

YouTubeにてライブ配信を行います



<https://bit.ly/otani232>



基調講演

14:10-14:50(40分)

大学進学「先」を見据えた進路指導とキャリア教育

～「問い」を通じて私達が高校生にできること～

先が見えない社会に備え、主体的にキャリアを築く力が必要な時代です。一方で高校生の周りには、知名度の高い大学へ行けば良い、資格さえ取れば一生安泰だなど、大人達が与える「正解」があふれています。その結果、安易に進路を選び、在学中や進学後に後悔するといった事例も少なからず生まれています。

当日は進学後のデータなども踏まえながら、将来に繋がる進路指導のあり方について、皆様と一緒に考えたいと思います。

[講師] 倉部 史記 氏

追手門学院大学 客員教授、情報経営イノベーション専門職大学 客員教授

経歴 慶応義塾大学大学院制作・メディア研究科修士課程修了。工学院大学職員、早稲田塾総合研究所主任研究員などを経て独立。全国の大学・高校と連携し、進路選択や学生募集、高大接続に関する企画・情報発信を行う。

三重県立看護大学 高大接続事業 外部評価委員。公務実績として文部科学省「大学教育再生加速プログラム(入試改革・高大接続)」ペーパーレフェリー、文部科学省「教育と研究の充実に資する大学運營業務の効率化と教職共同の実態調査」有識者委員、三重県「県立大学の設置の是非を検討するための有識者会議」有識者委員など。著書に『大学職員のリアル』(中公新書ラクレ)、『ミスマッチを無くす進路指導』(ぎょうせい)など。

トークセッション 15:00-16:00(60分)



[パネリスト]

倉部 史記氏



[パネリスト]

一楽 真

大谷大学長



[パネリスト]

富岡 量秀

大谷大学教育学部教授



[コーディネーター]

西本 祐攝

大谷大学入学センター長
文学部准教授

交通アクセス

「京都」駅から地下鉄「北大路」駅下車後、6番出口より徒歩0分

京阪「出町柳」駅から市バス西賀茂車庫行き「北大路バスターミナル」下車後、徒歩すぐ

お問合せ先

Be Real 寄りそう知性  大谷大学

企画・入試部 入学センター
〒603-8143 京都市北区小山上総町
TEL:(075)411-8114

E-mail:nyushi-c@sec.otani.ac.jp 窓口受付時間:9:00-17:00(平日)

